

2023年5月18日

輸送動向について（2023年4月分）

1. 輸送概況

新型コロナウイルス感染症の影響は緩和傾向にあり、インバウンドの増加等により人流が活発化してきたものの、原材料費高騰に伴う物価上昇による需要低迷等の影響は続いており、輸送実績は前年を下回った。

コンテナは、農産品・青果物が北海道及び九州地区で玉葱の収穫が順調だったことから作柄不良の影響を受けた前年を上回ったほか、自動車部品についてはサプライチェーンの不安定さは残るものの半導体不足の解消が進み自動車生産も回復傾向にあり増送となった。一方で、昨年来の値上げの影響等により清涼飲料水を中心に消費が低調に推移した食料工業品、需要の低迷により生産減が続く化学薬品及び化学工業品、需要減に加え一部顧客の設備不具合により生産減となった紙・パルプ等の減送により、コンテナ全体では前年比98.2%となった。

車扱は、石油が前年に比べ気温が高く推移し消費が減少した灯油を中心に減送となったものの、セメント・石灰石は前年を上回り、車扱全体では前年比101.4%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比99.0%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,578	1,607	98.2%	1,578	1,607	98.2%
車 扱	598	590	101.4%	598	590	101.4%
合 計	2,176	2,197	99.0%	2,176	2,197	99.0%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	120	108	12	111.4%
	化学工業品	135	142	-7	95.1%
	化学薬品	96	106	-10	90.1%
	食料工業品	268	280	-12	95.9%
	紙・パルプ	168	173	-5	97.2%
	他工業品	105	103	2	101.8%
	積合せ貨物	281	286	-5	98.5%
	自動車部品	57	49	8	115.1%
	家電・情報機器	29	30	-1	96.9%
	エコ関連物資	33	35	-2	94.0%
	その他	286	296	-10	96.4%
コンテナ計	1,578	1,607	-29	98.2%	
車 扱	石油	388	397	-9	97.5%
	セメント・石灰石	122	88	34	138.6%
	車 両	56	58	-2	95.6%
	その他	34	47	-13	72.2%
	車 扱 計	598	590	8	101.4%
合 計		2,176	2,197	-21	99.0%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)